

パパ・ママ子育て知恵袋

第50回は「話す」

子供の具合が悪いので、欠席を連絡帳に書いて、通学班の班長さんに託したんですけど、うちの子の最近の様子も聞いてみたいから電話しちゃいました。

あら、そうですか、いいんです、いいんです。ほら、こんなご時勢で保護者会もできなくて、お母さんとお話する機会もなくなっちゃって。タロウ君はどんな感じですか？

熱はないし、食欲もあるんですけど、鼻水が出るので、今日病院に行ってきます。だいたいあの子は花粉症で、そろそろムズムズする季節ですけど、念のため。あ、センセ、何か最近、うちの子がススム君とケンカしたみたいなんですけど。

ああ、そうなんです。一昨日かな、休み時間に鬼ごっこしていて……。

欠席連絡と朝の健康観察がPCやスマホからできる時代になりました。ピッと押せばよいので、ずいぶんと楽になります。本校も近いうちに導入を検討することになるでしょう。でも、私が校長でいる間は紙と電話のアナログを続けたいです。

朝の電話に出るのは、たいてい教頭先生です。教頭先生の声には小さなドラマがあります。声のトーンが上がり明るくなったり、低いトーンで何度もうなづいていたり。こういうことは、キャリアを積まないとできません。教頭先生だけでなく、うちの先生方は、よく電話をかけています。やっぱり話をしないと、です。

A先生が連絡帳を見せてくれました。

「お忙しいところ恐縮です。子供のことでお話ししたいことがあります。午後、先生のお手すきのときにお電話いただけると幸いです。よろしくお願いします。

090-●●●-□△○◇」

A先生が電話をすると、ちょっと重たい話題でした。でも、先生もお母さんも話ができよかったみたいです。ちょっと重たい話題だからこそ、話ができよかったと先生は言っていました。

卒業対策委員会のお母さんたちが集まって、打合せをしてくださっています。なんだかちょっと楽しそう。つついお邪魔して、ご挨拶させてもらったり、ちょっとお引止めして、お子さんのことでお話をできたり。いいものです。リモートじゃ、こうは行かない。大切ですよ、話すって。